

かすがい



「サツキ」 ～野本敏春～

～目

- 第62回通常総会 ……2～3P
「一般社団法人に移行、支部活動さらに充実」
- 支部活動
- 技術研修会・納涼会 ……4～5P
- 建築士事務所全国大会（研修旅行）…6～7P

次～

- 賛助会坂田会長
国土交通大臣表彰受賞 ……7P
- お知らせ・支部日誌・編集後記 ……8P
- 編集後記 ……8P

発 行

一般社団法人長野県建築士事務所協会 長野支部
長野市緑町1605-14 ダイヤモンドビル9F
TEL/267-5055・267-5066 FAX/225-9088

編集 情報委員会

一般社団に移行 支部活動さらに充実 第62回通常総会開催

当支部（佐藤修明支部長）は4月26日、長野市内で平成25年度通常総会を開催しました。

議事では、24年度の事業報告と収支決算を承認したほか、支部規約の改定や25年度の事業計画・予算を報告しました。



一般社団に移行したことを報告する佐藤支部長

冒頭、佐藤支部長は支部が4月1日から一般社団法人に移行したことを報告。今年度は「住宅の省エネや各種手続きなど会員のためになる当支部独自の講習会を実施していきたい」と述べました。また、24年12月に中央自動車道で発生した笹子トンネル天井版落下事故について触れ、「公共施設など維持管理の重要性を再認識した。道路や建物がある限り、維持管理をしっかり行い、会員の皆さんと切磋琢磨していきたい」とあいさつしました。

25年度は、会員の資質と技術の向上を図り、地域社会へ建築士事務所のPR、住宅無料相談などの公益事業、建築法令などの講習会の開催などを実施します。

第32回通常総会 賛助会

同日には支部賛助会（坂田守夫会長）の通常総会も開催。25年度の事業計画や収支予算など4議案を審議承認しました。

社会保険の 加入呼び掛ける

坂田会長は、建設業における社会保険の未加入問題について触れ、「平成29年度から全ての許可業者が保険に加入しないといけない。適正な法定福利費の確保と法定福利費を含んだ見積もり契約の実施を進めてほしい」と呼び掛けました。



あいさつする坂田会長

技術研修会に名称変更

年2回開催していました商品説明会を今年度から「技術研修会」に名称変更しました。

来賓からは、長野市長代理で柳澤盟建設部建築指導課長や長野地方事務所の唐沢栄一課長、酒井忠男相談役らが駆けつけました。

柳澤課長は来賓あいさつで、市が進める公共施設の整備プロジェクトを説明。「長野駅善光寺口の整備や市庁舎と市民会館の建て替え、南長野運動公園球技場大規模改修、小中学校の耐震化など、今後も皆さんの協力を得ながら事業を進めていきたい」と協力を呼び掛けました。

唐沢課長は、「耐震改修促進法の改正により、大規模施設の耐震診断なども義務化されることから皆さんの協力をお願いしたい」とあいさつしました。



一般社団に移行して初の通常総会

【会員数】

正会員 73事務所

賛助会員 57社

■新会員紹介

事務所名	級別	開設者	管理建築士	所在地	TEL/FAX
(株)エム・スクエア 木構造技術研究所 1級建築士事務所	1	松田久男	手塚 升	〒380-0038 長野市東和田320-3	026-217-6800 026-217-6801
(株)三友設備設計事務所	1	佐藤忠幸	野坂英史	〒381-0012 長野市柳原2550-14	026-296-7300 026-296-7117



株式会社 五十鈴長野

〒381-0033 長野市南高田2丁目9-1
TEL(026)259-6172 FAX(026)259-6174
E-mail: isuzu-nagano@ec5.technowave.ne.jp

建設業の種類

左官工事業 防水工事業 塗装工事業 内装仕上り工事業

営業品目

- | | | |
|---------------|-------|-------------------------------|
| 1 防水工事 | | 超速硬化ウレタン・アスファルト・シート・FRP・シーリング |
| 2 塗床工事 | | エポキシ系・ウレタン系・アクリル系・無機質系 |
| 3 防食工事 | | エポキシ系・ウレタン系・ポリウレタ系 |
| 4 耐火断熱工事 | | 石綿・発泡ウレタン吹付 |
| 5 吹付工事 | | 内外装吹付全般 |
| 6 耐震工事 | | グラウト注入・エポキシ樹脂注入 |
| 7 外壁タイル剥落防止工事 | | |

自然エネ関連の技術紹介 技術研修会開催 角藤と炭平コーポレーションの2社

当支部（佐藤修明支部長）と賛助会（坂田守夫会長）は7月23日、技術研修会を長野市内で開きました。技術研修会では、角藤と炭平コーポレーションの2社が自然エネルギーを中心とした技術や商品をPRしました。

再生可能エネルギー 地中熱の利用

角藤は自社で導入している「地中熱利用」を紹介。同社の山中隆氏は、「地中熱は、CO₂排出量を削減でき、熱を大気に放出しない環境にやさしい再生可能エネルギー」と説明。



明。北海道や東北地方で住宅や道路などの融雪に数多く活用されている例を挙げ、「補助金を活用し、県内でも地中熱エネルギーを多く活用してほしい」と呼び掛けました。地中熱を導入している同社長野工場も見学が可能です。

自然循環型換気システム グッドマン

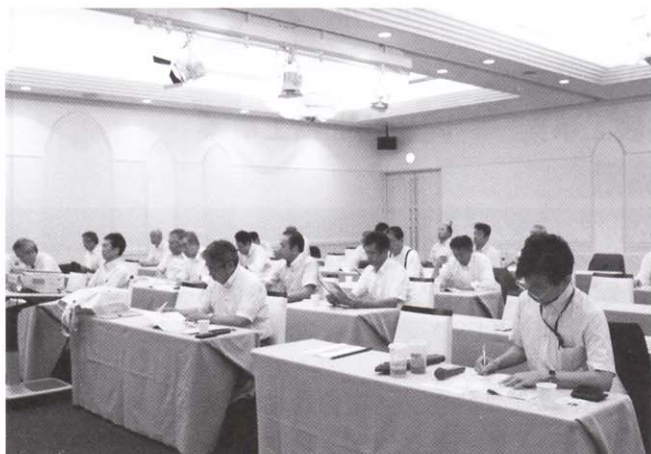
炭平コーポレーションは日浦（本社・北海道）の住宅対応の換気システム「グッドマン」



を紹介。日浦の宮原雄太郎氏が、「電気を使わず、空気のエネルギーで換気ができる。メンテナンスも簡単で、結露やカビ対策にも有効」と特長をアピールしました。

納涼会で親睦深める

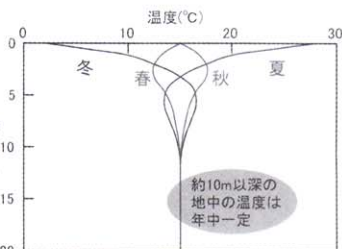
引き続き開かれた納涼会の冒頭、佐藤支部長は「技術研修会は、時代のニーズに合った自然エネルギー関連の説明で参考になった」とあいさつ。和やかな雰囲気の中で、会員相互が交流を深めました。



再生可能エネルギー 「地中熱」の利用

どこにでもある地中熱の活用

地中熱とは、地方からおおよそ地下200mの深さまで地中にある熱のことをいいます。このうち深さ10m以深の地中温度は季節にかかわらずほぼ安定していて、その地域の平均気温かそれよりも少し高い程度であることが多くくなっています。そして、この安定した熱エネルギーを地中から取り出し、冷暖房や給湯、融雪などに利用することを「地中熱利用」と呼んでいます。その利用方法は、ヒートポンプシステム、空気循環・熱伝導・水循環、ヒートパイプの5つに分類することができ、用途に合わせて選定することになります。



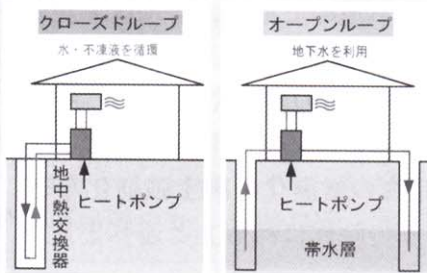
季節による地中温度の変化イメージ

地中熱利用の形態

ヒートポンプの熱源として利用
温度調節が可能で汎用性が高い

ヒートポンプシステム

住宅・ビル等の冷暖房・給湯、プール・温浴施設の給湯、道路等の融雪、農業ハウスの冷暖房など



地中熱ヒートポンプのメリット

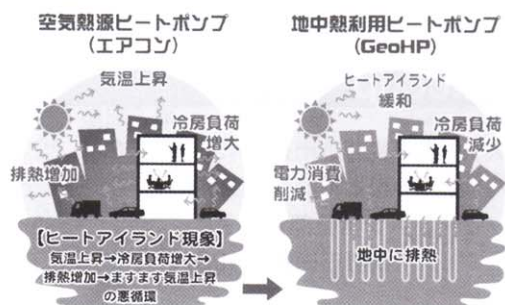
- 汎用性** ・日本中どこでも利用可能。
・空調、給湯、融雪等様々な用途に使用可能
- 安定性** ・天候に左右されない

省エネルギー性・省CO₂性

- ・空気より熱源としての温度条件に優れるため、高効率
- ・化石燃料からの転換でCO₂大幅削減。

ヒートアイランド抑制効果

- ・冷房排熱を外気に排出しないためヒートアイランド現象を抑制。

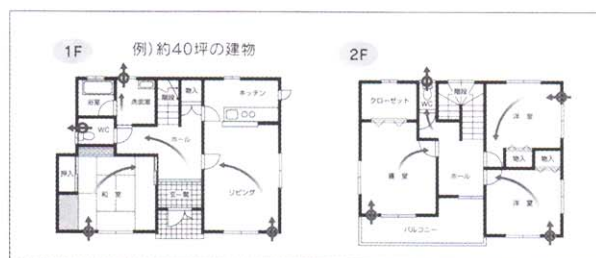
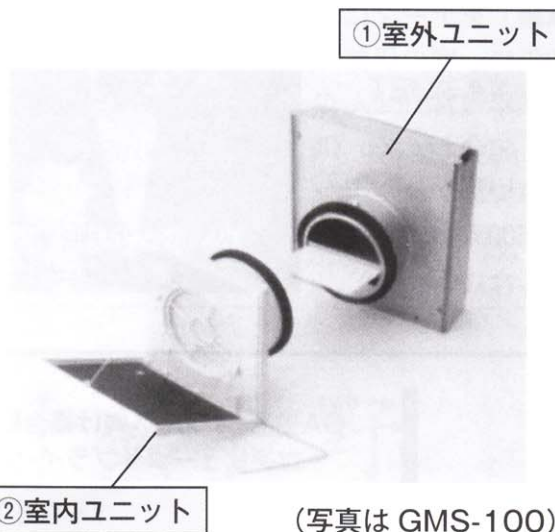


自然循環型換気システム グッドマン

グッドマンは・・・

- ①電気を使わず、空気のエネルギーで24時間換気
- ②結露・カビ対策・熱中対策に大きな実績
- ③メンテナンスが非常に簡単

空気は、温度差や気圧差があれば必ず移動します。グッドマンはこの原理を巧みに換気応用した製品です。「①室外ユニット」と「②室内ユニット」の2つのパーツで構成され、それぞれが他の換気口にはない機能を有しています。



グッドマン換気口利用の24時間換気システム 自然と機械の併用「ハイブリッド換気」

風力や温度差などの自然換気と機械換気の組み合わせは、省エネ省資源で快適な地球環境、居住環境を目指す換気システムです。

日事連 全国から1600人余が参加 第37回建築士事務所全国大会

「建築の原点文化・魂と技の承継」をテーマに支部会員らも出席

当支部は（佐藤修明支部長）8月9日と10日に三重県を訪れ、9日に開かれた日本建築士事務所協会連合会（日事連）主催の第37回建築士事務所全国大会に参加しました。

同大会は、業務に関する技術向上や社会貢献、会員同士の交流を目的に毎年開催しているもので今年は「建築の原点文化・魂と技の承継」をテーマに、10年に一度の伊勢神宮式年遷宮（せんぐう）に合わせて、伊勢市で開かれ全国から1600人余が参加しました。



全国大会が開催された三重県営サンアリーナ

日事連の三栖邦博会長は大会のあいさつで、今後予想される首都直下型の地震について触れ「強度不足の建物や老朽化した都市施設など社会資本の再評価と再構築は喫緊の課題」と指摘。「建物の耐震化や国土強靱化など、新たな国づくりの時代にある」と述べました。

OA機器・オフィス向け複合機・事務機器・測量機器・製図機器・測定試験器
コンピュータサプライ・ソフトウェア開発・ネットワーク構築支援

信頼と技術で奉仕する！



株式会社

い と ほ

<http://www.itoh.co.jp>

長野支店 長野市南長池498-1 026-221-4300
松本支店 松本市野溝木工1-5-1 0263-26-5900
上田支店 上田市国分1-1-9 0268-24-4300
南信支店 上伊那郡南箕輪5657-5 0265-76-2100

システム部 長野市南長池498-1 026-221-5544
〃(松本) 松本市野溝木工1-5-1 0263-25-6311
ソリューション営業部
長野市南長池498-1 026-221-5885

会場では、日事連建築賞のパネル展示や「建築文化の承継とまちづくり」をテーマにパネルディスカッションも行われ議論しました。

記念講演では平成24年に伊勢神宮の外宮に完成した式年遷宮資料館「せんぐう館」の設計を担当した栗生明氏（栗生総合計画事務所・東京都）が「建築の原点・祈りと歓び」と題して講演。栗生氏は、過去の作品やせんぐう館の設計について解説。参加者は栗生氏の話に熱心に耳を傾けていました。



伊勢神宮参拝 神社建築など見学

同大会の前に支部会員らは、伊勢神宮（外宮）を訪れ参拝。敷地内のせんぐう館や歴史的建物なども見学しました。翌10日は、伊勢湾沖にある夫婦岩や伊勢市内を観光しました。

賛助会 坂田守夫会長 全国防水工事業協会常任理事 国土交通大臣表彰受賞

国土交通省は7月10日、「平成25年建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰式」を同省で行いました。総合建設業や専門工事業など社会資本整備や住宅の建設・供給などに功績のあった213人と徳島建設業協会など5団体に太田昭宏国土交通大臣が表彰状を手渡しました。

県内からは坂田守夫氏（長野市・69歳、坂田工業取締役会長・全国防水工事業協会常任理事）、山崎正寛氏（上田市・68歳）ら4人が受賞。太田大臣は「経済の健全な発展や安心・安全な国民生活は、みなさんの苦労があればこそ」と述べ、受賞者の長年にわたる功績を称えました。



坂田守夫（さかた・もりお）氏＝昭和19年8月14日生まれ、69歳。坂田工業会長。全防協では関東甲信支部長も務める。高崎市生まれ。長野商業高校卒。現在、長野市内で妻と2人暮らし。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
老舗「防水屋」の4代目社長（現会長）として会社を成長させながら、全国防水工事業協会（全防協）の活動を通じて業界全体の発展にも貢献。坂田氏は、「防水は建物の命。まがいものはつukらない」。仕事のやり取りをするのはゼネコンや設計事務所だが、「いつも『見えない施主』の喜ぶ姿を思い浮かべて仕事をしてきた」。と振り返りました。

■住所変更のお知らせ

事務所名	新所在地	TEL/FAX
(株)スペースプロ	〒380-0813 長野市緑町1661-11	026-225-9844(変更なし) 026-225-9855(変更なし)
(株)丸二林産一級建築士事務所	〒381-0003 長野市大字穂保字町裏250-5	026-262-1781 026-262-1783

■支部活動

平成24年度

日 時	内 容	場 所	出 席 者
H25年 2 月 7 日	理事会	長野建築センター	理事 13名
2 月27日	臨時総会	メルパルク長野	会員17名
3 月29日	理事会	長野建築センター	理事 12名

平成25年度

日 時	内 容	場 所	出 席 者
H25年 4 月10日	会計監査	長野建築センター	関監事、松本監事、佐藤支部長、 丹羽会計理事、山口会計理事
4 月26日	理事会	メルパルク長野	理事 13名
4 月26日	通常総会	メルパルク長野	会員 24名
5 月13日	総務委員会	長野建築センター	委員 6名
6 月 6 日	理事会	長野建築センター	理事 15名
7 月23日	技術研修会及び納涼会	メルパルク長野	出席者 33名
8 月 9 ～10日	建築士事務所全国大会 三重大会(研修旅行)	三重県	参加者19名

支部日誌

編集後記

県は、全国に先駆け県内で新築される10㎡超のすべての建物の建築主に、断熱などの環境エネルギー性能と太陽光やバイオマスなど自然エネルギー導入の検討を義務付ける制度を平成26年4月に施行されます。住宅をメインとする300㎡未満の建物についても、27年4月に対象とする予定です。この制度は、県地球温暖化対策条例に基づく制度改正により、これまでの建築物配慮計画書制度を再構築したもので、建築主に、高断熱化や高効率の設備機器によって省エネを図り太陽光発電、ペレットストーブなど自然エネルギーを導入した場合にかかる初期投資額とランニングコスト(光熱費)を比較検討してもらい、より環境性能高い建築物を選択するように促すのが狙いです。

設計者や工務店ら建築事業者は、省エネ性能や導入可能な自然エネルギー設備について、建築主にわかりやすく情報提供と説明をする役割が、ますます求められてきます。